

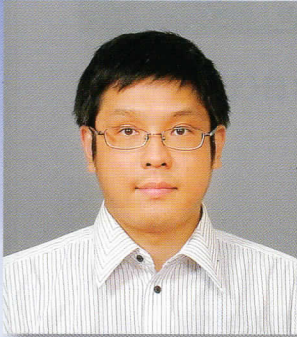


技短同窓会会報

第8号

編集・発行 同窓会会長・理事
発行部数:1,700部

熊本県立技術短期大学校同窓会会報



熊本県立技術短期大学校
同窓会会長 野田 泰
(第4期卒業 産業機械科)

同窓会にいつもご協力ありがとうございます。先日福岡・大分で発生した大規模水害を始め、全国各地で何十年に一度という降雨による被害が起っています。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。また、熊本地震から1年が経過しましたが、仮設住宅で避難生活を続けている被災者も数多くおられ、まだまだ復興完了とは程遠い状況です。これからも復興のために熊本を盛り上げていきたいと思っています。

この度本校は21年目を迎えます。ということは、第1期生が卒業して20年ほど経過します。20歳で卒業すると40歳。当たり前のことですが、技短OBOGの方に話を聞くと業務の中心的存在であったり、管理職的な業務を行ったりする人もいます。ガムシャラに走り続けていた20代、後輩ができ家族ができて今まで以上に責任感が出てきた30代。その先にはどんな40代があるのかと考える時がありますが、30代の私には40代のことはやはり経験しないと分からないところです。

しかし、20代の経験は30代の現時点で振り返ることができません。どのような問題に頭を悩ましたか、そしてそれを解決するにはどのような方法があったかなど、「今思えばこうしておけば良かった」ということが沢山あります。そういった経験から学び取る反省や解決の知識は、会社では自分自身が失敗しない選択や部下や同僚へのアドバイスとして有効に活用されていますが、技短の後輩にはほとんど伝える機会がありませんでした。

もちろん自分で悩み苦しむ突破口を見つける努力や失敗の経験は必要ですが、経験に基づくアドバイスによって、考えの幅を広げたり、視点が変わったりして思わぬ気づきを得ることはよくあることで、そういった利点を技短の在校生や就職間もないOBOGに伝えることが出来ればと考えるようになりました。また、経験を積まれた皆様と意見交換をすることで、お互いにヒントを得ることもあるだろうと思っています。

卒業生の皆さまには、これまでに苦勞され築き上げてきた実績から振り返って、「今思えばこうしておけば良かった」を是非とも現役生、経験の浅い若い卒業生に伝えていただきたい。

実践的な情報を元に行動する学生や技短卒業生を一人でも多く社会に輩出できるお手伝いができればと感じます。これまで私も現役生に数年間講義しましたが、経験を伝える機会と思って取り組んできました。自分の勉強にもなる良い機会ですので卒業生の皆様も積極的に現役生と触れ合う機会(同窓会、技短祭)を有効活用してください。



熊本県立技術短期大学校
校長 里中 忍

熊本地震から1年4ヶ月経過しました。人材不足や資材不足などで復旧作業が進まず、まだ仮設住宅で過ごしておられる方も多いと聞いています。卒業生の皆様はいかがお過ごしでしょうか。元気にご活躍のこととお察しいたします。

熊本地震では本校も甚大な被害を受けましたが、多くの方々のご支援もあって復旧作業もほぼ終わり、通常通りの授業、実験、実習を行うことができるようになっています。書籍の整理の都合で最後

まで残っていた図書室もつい最近オープンしました。これまでのご支援や激励に感謝すると共にお礼申し上げます。

まず、本校の近況をお知らせいたします。昨年度の第19期卒業生は94名、今年度の第21期入学生は89名でした。就職に関しては皆様方のご活躍と本校に対する企業の高い求人意欲に支えられ、昨年度も就職率100%を達成しました。今年は既に二つの科で就職希望者全員に内々定の通知が届いています。一方、入学に関しては募集定員を上回る志願者があるにも係わらず、景気や大学全入時代の影響もあってか2年続きの定員割れとなってしまいました。これには更なる魅力づくりと情報発信が必要と考え、現在改革に取り組んでいます。

学生もがんばっています。資格取得や外部コンテスト、ボランティア活動など、正規の授業以外の活動にも多くの学生が挑戦しています。ポリテック・ビジョン2017、若年者ものづくり競技大会には精密機械、機械システム、電子システムの学生が参加し、機械製図(CAD)部門で敢闘賞を、ロボット競技大会で審査員特別賞を受賞しました。特に、ロボット競技大会では予選1位ながら決勝ではマシントラブルで失格となりましたが、本校のロボットは次回からの競技課題を変更させるほどの究極のアイデアで、参加チームにインパクトを与えました。大学コンソーシアム熊本のボランティア活動では参加者の約1/3が本校の学生で、江津湖のクリーンアップに貢献しました。

さて、昨年熊本地震で実施できなかった20周年記念事業は、今年20周年+1(プラスワン)事業として三つの改革と記念行事を計画し、実行に移しています。三つの改革では「入試改革」、「カリキュラムの見直し」、「教育成果の見える化と地域連携の推進」に取り組み、「技短は変わります」を合言葉に次の20年に向かって動き始めています。「プラスワン」に込めた「技短は変わる」という想いをアピールするために、記念誌発行、記念式典、記念講演会、記念イベントも計画しています。また、前回の会報第7号で本校は卒業生の皆様に対するサービスが足りない、20周年を機に同窓会の活性化のための仕組みづくりに協力したいと書きました。これについては、20周年+1事業の中で「心の拠りどころ」となるような同窓会作りに協力しながら、大同窓会の共催まで漕ぎ着けています。卒業生の皆様にとっても新しい展開となることを期待しながら、これからのご活躍を祈念しています。

祝創立20周年

① 大同窓会(総会)【同窓会】

日 時 2017年10月21日(土)

受 付 18:00～18:30

総 会 18:30～19:00

大同窓会 19:00～21:00 (会費：6,000円)

場 所 メルパルク熊本

熊本県立技術短期大学校創立20周年おめでとうございます。同窓会は若干若く15周年を迎えます。今回は母校の式典に併せて大同窓会（卒業生全員集合！）を実施いたします。初の試みなので、どれだけの卒業生が集まってくれるかわかりませんが、やるだけのことはやってみます。また、この機会を利用して総会も開催します。この総会以降（平成30年度）同窓会は新たな体制により活動を行っていきます。これまでより学校との連携を深め、卒業生のため、母校のために活動していきたいと考えています。当日はなつかしい同級生や会社の先輩・後輩を誘って気軽に参加してください。今回参加することで同じ会社やお付き合いの会社のお知り合いで「この人は技術短大出身だったのか」と気付かれることも出てくるかもしれません。有意義な同窓会を目指します。ご協力よろしくお願いします。

2017年度技短祭案内

日 時 2017年10月29日(日)

場 所 熊本県立技術短期大学校
同窓会ブース：11:00～15:30

同窓会連絡先 ▶ kpctec@yahoo.co.jp

② 記念式典

日 時 2017年10月21日(土)

式 典 13:30～14:20

講 演 14:30～16:20

見 学 16:30～17:00

場 所 熊本県立技術短期大学校

記念式典は21日の午後から開催されます。場所はなつかしの母校の体育館・講堂です。ご来賓にはこれまでお世話になった地元関係者をはじめ歴代の校長先生や長年勤められた先生方をご案内してあるそうです。

記念講演は1件目に独立行政法人国立高等専門学校機構理事長（前熊本大学学長）の谷口 功先生から「科学技術イノベーション立国を担う人「財」育成 ～県立技術短期大学校に期待する～」、2件目に株式会社安川電機 理事 開発研究所 所長 筒井幸雄様から「安川電機のロボットの取り組み」です。

熊本地震で被害を受けた校舎もようやく修復されたようなので、リニューアルした母校に会えるのも楽しみの一つです。土曜日でもありますし、20年に1度のチャンスです、時間に余裕のある方は是非、参加されることをお勧めします。

こちらは年度おなじみの技短祭の案内です。今年の技短祭では例年のものづくりに加え、その場で楽しんで頂けるような企画を検討しています。最近卒業生が小さいお子さんを連れて遊びに来られることも多いので、各世代の皆さんに併せたものを準備いたします。

楽しい時間を過ごして頂けるように尽力いたしますので是非遊びにきてください。お待ちしております。

2017年3月 異動・退職者

退職者

副 校 長	谷川 良徳
電子システム技術科 講師	小南 嘉史
機械システム技術科 指導員	高山 繁春

転出者

総務学生課長	廣石 典子
総務学生課 主任主事	末永 太一